

## 《企画書》

提出者 ノリノリのりちゃん

### 【タイトル】 みんな繋がっている

#### 【概要】

本企画は、「みんな繋がっている！」ということをおもい出してもらう内容です。  
今、不安や孤独を感じて一歩を進めなくなってしまっている方に、どんな一歩でも踏み出していただきたいと願って企画しました。

#### 【想定する読者ターゲット】

- ① 18～80代の男女
- ② 人生に孤独を感じ、誰かとのつながりを求めている人
- ③ 自分や他者の幸福に貢献したいと考える人

#### 【あらすじ】

みんな繋がっていることが段々分かってきた。繋がっているとどんなに幸せなのかを想像して、その気持ちに従ってその良い気分をいつも考えてまず自分が幸せになる。そしてその幸せそうなあなたを見ている周りの人たちも幸せになる。そうしてみんなが幸せを感じると、私たちが天国だと感じる世界が今、目の前に広がる。

#### 私が幸せに導かれたプロセス

生まれたときは誰もが両親から愛されていた。

その後学校に入ったり色々な経験を積んでいく過程で、いろいろな気持ちを経験するし、その時すぐにこの経験が幸せ。と思えなくても目の前のことを一歩一歩こなしていくと幸せになっちゃう。

みんな繋がっているということを忘れたままでは、人は孤独を感じて一歩を踏み出すことができなくなってしまう。でも勇気を出して外に出てあった人に声をかけてみたら世界が変わる。自分は何もできないと思っているかもしれないけど、出来ないことではなく出来ることを数えてみよう。

そうして色々体験して行って、導かれて、みんな抱き合ってやっとわかった。

「みんな繋がっている」

## 【サンプル原稿】

みんな繋がっていた

### 第1章 みんな繋がっているよ

私たちが生まれて溶きみんな親から愛されていました。でもその後学校へ行ったりやりたくない事をやらされたりしているうちに、やりたくないのができないのは当たり前なのに、それが出来ない。私は出来ないと自分が嫌になってしまう。そして挑戦すらしなくなってしまう。そんなもったいないことやめましょう。

でも、自分を好きになれば隣の人も好きになってみんなすでにある。を思い出すとこの世は天国になってしまいます。

### 第2章

昭和生まれの私は戦後だったので、学校に行く道路も舗装してない、車は少ない、おじいちゃんは戦争でなくなっちゃったから、父、母、祖母、生まれたときは祖祖父、租祖母もいたみたいです。みんなに助けられ、愛されて育ったのです。人間の赤ちゃんは手をかけないと一人では生きていけません。思い出してください。私たちは、両親から？親がいなかったとしたら神から愛されているのです。農家でしたので、かまどでお米を炊いたり、お風呂を巻きで炊いたり、炎は暖かくて揺らめいてとってもリラックスできました。幸せ。布団は縁側で干しました。太陽で暖められてポカポカ上で横たわると幸せで眠ってしまいます。

でも保育園に行き初めて、おたふくかぜで休んだ後、保育園に行きたくなくなってさぼって行かずにいたら、親に見つかってしかられて、また、保育園に行かされました。

その後頑張らない毎日を過ごし、目の前に現れたことをこなしていたら、高校は農業高校に行って、そこで知り合った人と結婚して、体を壊して（毎日やりたくない。と思っていたので今にして思えば当たり前）仕事をやりたく無いための病院通い。でも病院でも原因はわからず。病院にお金使うんだったら、おいしいもの食べたほうが楽しいな。ポジティブな性格でよかった。義母に「あなたの体より仕事の方が大事だから働きなさい。」と言われた。給料ももらっていない。（そんなのめんど。私は奴隷じゃない。）外で働くことにした。紹介で何の経験もなく隣の県の美容室で見習いとして雇ってもらった。でも、初めての給料日に、「遅刻は3日で1日休みとしてカウントする。」と言われた。面接のときにはそんな話聞いていない。「やめます。」とやめた。

近くの占い師の所に相談に行った。占い師は下着や靴下を売る仕事を紹介してくれた。近くの工場でお昼に中で売る許可をもらい売りに行った。売れなかった。愛想よくすることも、売れるためにはどうすればよいかなど全然考えなかった。中学時代の友達の所に売りに行った。彼女の母は保険屋さんをしていた。保険屋さんになるのを勧められた。0歳児を連れた私は、子供と一緒に会社に行ける。と就職した。そのうち嫁入り先には居づらくなって、弁護士の所に相談に行った。「離婚したいなら一緒にいない方がいい。」と言った。実家には妹も嫁に行ったので、部屋も空いていた。戻った。車がないと何もできない田舎なので、保険のお客さんの車屋さんで軽自動車を買った。もちろんローンで。仕事先でお客さんも紹介してくれたので頑張った。支部長にさせられた。

そうすると今度は新人を採用しなければいけない。朝礼でぐったりとなって、終わったら仲間とお茶。ある事をきっかけにして保険屋をやめた。妹のスナックを手伝った。

でも考えた。スナックを手伝って、昼働いてその先どうなるの？私には何が出来る？今まで農家で土地を扱っていたから、出来るのは不動産やだな！宅建の勉強を始めた！そして、出来たばかりの不動産屋の事務員を引き寄せた。次の年には、なぜか社長になった。

その後、いろいろな人々に合わせて戴いて、自分がいつも嫌な言葉を使っていたことにも気づき、斎藤一人さんの天国言葉、小林正観さんの「ありがとう2万5千回」「素手でトイレそうじ」etc実践してみた。そうすると現実が変わった。前より頻繁に海外旅行に行くことも出来た。ぼろぼろのアパートも引き寄せた。きれいに修理して不労所得になった。

エイブラハムを知った。もっともっと生きやすく行動的になった。

去年は、本田健さんの作家セミナーにも参加させていただき、八ヶ岳合宿も参加した。相部屋になった彼女は、何と宝くじ1億円の当選者でした。そちらで声をかけた女性はマリオットのクラブメンバーで、ハワイの飛行機チケットだけ持っていた私は、ホテルは彼女に取ってもらった。コオリナだったのでゴルフも予約した。ガイドも初会してもらい効率よくショートステイを満喫できた。八ヶ岳セミナーではワークもした。みんなで抱き合っただけでひとつになった。すごく気持ちよかった。愛があふれてきた。そして分かった。「みんな繋がっている」

[以上となります。よろしくお願ひいたします]